

2022年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(秋期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 東洋・日本美術史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受 験 記 号 番 号	
-------------	--

成績	績
----	---

2022年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(秋期・一般選拔) 問題

專 門 科 目 I (東洋・日本美術史)

一、日本美術における「形態の伝承」とその意義について、自身の関心に沿った具体的事例をあげながら論じなさい。

受驗記号番号	
--------	--

受験記号番号	
--------	--

二、各設問の指示にしたがって答えなさい。

問題 1

以下の文章は、『歴代名畫記』巻六に引かれる宗炳の「畫山水序」の一節である。これを読み、中国語を母国語とする者は日本語の訳文を、そうでない者は書き下し文を作成しなさい。

且夫崑崙山之大、瞳子之小、迫目以寸、則其形莫覩、迺以數里、則可圍於寸眸。誠由去之稍闊、則其見彌小、今張綃素以遠映、則崑崙之形、可圍於方寸之內、豎劃三寸、當千仞之高、橫墨數尺、體百里之迥。

問題2

以下に示した資料は『古今名家略伝』（山崎美成著・一八四一年自序）の一部である。全文（ふりがなを除く）を現代通用の表記に書き改めなさい。

若冲居士

若冲居士名ハ釣^{つり}幸^{きょう}、景和平安の人^{ひと}なり。伊豫^{いよ}ニ生^うれ、
 一^{ひと}婦^{むすめ}氏^し子^こ改^{あらた}む父^{ちち}名^なハ源^{げん}母^{はは}名^なハ武^ぶ義^ぎ氏^し。女^{むすめ}幸^{きょう}保^ほ二^に年^{ねん}三^{さん}
 月^{つき}八^{はち}日^{にち}京^{きやう}師^し稱^{しょう}少^{せう}師^し。由^{よし}テ若^{わく}冲^{しゅう}の字^{なづ}ハ断^{たん}と^{して}他^た
 の技^ぎ術^{じゆつ}一^{ひと}唯^{ただ}修^{しゆ}事^じの二^にを好^{この}むと^{して}。若^{わく}冲^{しゅう}氏^しの流^{りゅう}を学^{まな}ぶ
 五^ご歳^{さい}ハ一^{ひと}に熟^{じやく}す。通^とシ自^{みづか}ら若^{わく}冲^{しゅう}氏^しの法^{はふ}
 あり。少^{せう}若^{わく}冲^{しゅう}氏^しを善^{ぜん}く見^みる。若^{わく}冲^{しゅう}氏^しの関^{かん}系^{けい}を越^こす。一^{ひと}に
 於^おテ宋^{そう}元^{げん}の書^{しよ}を学^{まな}ぶ。ふとあつて。宋^{そう}元^{げん}れ。書^{しよ}を臨^{りん}接^{けつ}す。と^{して}
 教^{きやう}十^{じふ}有^{いう}年^{ねん}ふと^{して}。又^{また}若^{わく}冲^{しゅう}氏^しの技^ぎ術^{じゆつ}を肩^{かた}を比^ひす。ふとや。且^{かつ}
 彼^かれ。物^{もの}を描^{えが}ふ。ふと。又^{また}描^{えが}ふ。ふと。描^{えが}ふ。物^{もの}一^{ひと}層^{そう}を隔^へ
 つ。ふと。之^{これ}を親^{まこと}く。物^{もの}子^こを。若^{わく}冲^{しゅう}氏^しを。把^{つか}ふ。と。物^{もの}子^こを。若^{わく}冲^{しゅう}氏^しを。
 何^{なん}ぞ。若^{わく}冲^{しゅう}氏^し。人^{ひと}氣^き運^{うん}生^{せい}動^{どう}。と。若^{わく}冲^{しゅう}氏^し。若^{わく}冲^{しゅう}氏^し。

受 験 記 号 番 号	
-------------	--

受験記号番号	
--------	--

三、次の項目について略述しなさい。

A、聖徳太子信仰と美術

B、皴法

C、『芥子園画伝』

受験記号番号	
--------	--

D、ギアロスクーロ

E、遠近法